

# 見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち

## APRIL 2017

April						
S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

まんだらじ  
曼陀羅寺

所在地：江南市前飛保町

交通：名鉄犬山線「江南」駅 北西 約 2.5km

江南市の北西部、木曾川に近い前飛保町に位置する曼陀羅寺は、後醍醐天皇の命により天皇と血縁の天真乗運上人により正中元（1324）年から元徳元（1329）年にかけて造営された寺で、江戸期には幕府巡見使の御休所としても重要な役割を果たしていました。現在の正堂は、阿波国守蜂須賀家政公が、幼少時代に曼陀羅寺の末寺の本誓院で学問を習ったことから、この報謝の為に寛永9（1632）年に寄進された建物で、国指定の文化財になっています。

曼陀羅寺では、平成28年4月から平成30年9月にかけて、この正堂の保存修理工事を行っており、檜皮葺きの屋根の葺き替えに合わせて、耐震性を向上する工事も行われています。

通常、お寺などの大屋根には、頂上部分に箱棟と呼ばれる箱状の部材（写真参照）が取り付けられていますが、屋根の葺き替えにあたり、この箱棟の側板となっていた部材（図参照）に濃尾地震の際の被害や再建の様子が書き記されているのが発見されました。以下は記載の抜粋です。

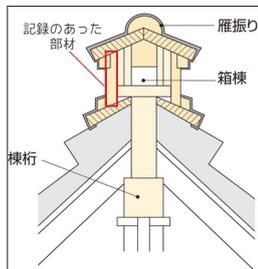
「明治廿四年卯年十月廿八日午前六



改修前の正堂（江南市HPより）



箱棟（○で囲んだ部分）



箱棟（コトバンクHPより）

時未曾有ノ大地震ニ遭遇シ庫裡玄閣塔中等一時ニ倒壊ス半倒ニテ残りタル者ハ本堂曼陀羅堂唐門鐘樓堂地藏堂靈鷲院修造院ナリ。」（明治24年10月28日に大地震に遭い、庫裏や塔頭などが倒壊した。半倒で残ったのは本堂、曼陀羅堂など一部の建物のみであった。）

「此ノ時官府ヨリ救助金ヲ賜リ辱クモ小松宮殿下東園侍從殿御勅使ト被為成人民ヲ哀レシタモ事父母ノ如シ。此ノ砌り当山工自カラ御巡覧ト相成続テ宮内ノ両省工嘆願シ金壹百圓ヲ賜ル。之レ依テ箱峯新ニ造立スル者也。」

（このとき、国から救助金を賜り、小松宮殿下東園侍從が曼陀羅寺にも視察に訪れた。のちに、国に嘆願して壹百圓の支援を賜った。これにより箱棟を新たに作った。）

そのほかにも、棟札には「境内総建物八拾三棟ノ内五拾三棟全倒シ三拾棟半倒シ」「当山工特別ノ御下賜金壹百圓ヲ拝請ス」（地震で境内にあった83棟の建物のうち、53棟が全倒、30棟が半倒し、下賜金壹百圓を受けた）との記録も残されています。

この曼陀羅寺の事例のように、お寺では、地震の際の被害や救済、復興の記録が、復興にあたり使用された建物の部材に書き残されている場合があります。曼陀羅寺のこの記録では、濃尾地震後には、寺の復興のために多大なる労力を要し、国からの支援も受けた、とされていますが、現在行われている耐震改修工事は、この震災後の労苦を大きく軽減するための事前の取組であるといえます。



箱棟に記された濃尾地震の被害の記録（部分）



◆ 災害にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い（二度と被害を繰り返さないように、など）が込められています。碑や史跡の前では、災害が実際にこの地域で起こるということを実感していただくとともに、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。

## ◆ 曼陀羅寺の周辺には…

### ● 徳授寺

所在地：犬山市犬山南古券

交通：名鉄犬山線「犬山」駅南西約600m

徳授寺は、明治24年（1891）濃尾地震の際に、本堂が倒壊するなどの被害を受けています。寛宗



和尚がその再建に努めたとされています。



### ● 入鹿池

所在地：犬山市池野地区

交通：名鉄犬山線「羽黒」駅南東約5km

入鹿池では、明治24年（1891）濃尾地震の際に、堤防に幅6～9cm程度、深さ5.5m程度に達する地割れが出来たとされています。この時には、幸いにも水位が低かったために、破堤には至りませんでした。なお、明治元年（1868）には、連日降り続いた大雨により決壊し、浸水被害が発生しています。



◆ 詳細な地図は『歴史地震記録に学ぶ防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をご覧ください。

## ★ 江南藤まつり

曼陀羅寺の境内にある曼陀羅寺公園では、4月から5月にかけて、藤をはじめ、ボタン、シャクナゲ、ツツジなど、数多くの種類の花が咲き誇り、藤まつりが開催されます。（平成29年は4月20日から5月7日）

紫・紅・白と様々な色や、早咲き、遅咲き、長く優雅な花房から短く可憐なもの、八重咲きのものと12種類約60本の藤が彩る中、戦国武将行列や嫁見まつりなどのイベントも開催され、お祭りの雰囲気を楽しむことができます。また、期間中はライトアップ（18:30～21:00）も行われます。



江南市観光協会 HP より

曼陀羅寺は、織田、豊臣、徳川から下附された古文書類、国、県、市指定の文化財や宝物を多数所蔵しており、藤まつりの時期に合わせて（4月29日から5月5日）これらの宝物の一般公開も行われています。

### 4月のあいちの花

平成29年4月のあいちの花は、トルコギキョウです。トルコギキョウは北アメリカ南部から南アメリカ北部に分布するリンドウ科の植物で、



ヤサシイエンゲイ HP より

キキョウとは別種です。日本には昭和10年代に導入され品種改良が進み、大輪小輪に、様々な色の組み合わせがあり、豊かな品種が作り出されました。多くは切り花として流通しますが、一部、鉢物として草丈の低い品種が流通します。株を冷蔵保存するなどの技術の発達により、切り花は一年を通して流通しています。

### ● プレイクタイム ●

#### ♪ 古知野神社祭礼

古知野神社は延徳元（1489）年の創建と伝えられる、江南市の中央に位置する神社で、楠の大樹や桜、紅葉などが並ぶ約1,500坪の境内に、天照大神と日本武尊を祀っています。古知野神社祭礼は、献馬が早朝から町内などを練り、神社へ奉納される祭りで、毎年4月に古知野神社で行われます（平成29年は4月16日）。

8頭の献馬と各町内から参加する子どもみこし22基が、古知野南小学校に集結してイベントが行われ、その後にパレードが催されます。午後1時50分ごろに小学校を出発した一行は、江南通り、伝馬町、本町通り、宮町を経由して、午後2時40分ごろに神社に到着し、献馬が奉納されます。



◆ この地域の災害に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、[gensaisan2014@gmail.com](mailto:gensaisan2014@gmail.com) まで情報をお寄せください。

◆ 県内の歴史地震記録をホームページで紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『歴史地震記録に学ぶ防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をぜひご覧ください。

（発行：減齋の会・名古屋大学減災連携研究センター 平成29年4月）

